

第6次草津市総合計画基本構想の策定に係る  
タウンミーティングの実施結果について

No.	意見の要旨	対応
1	<p>健幸創造都市で生きがいと幸せを創造するということが、整備予定の草津市立市民プールを高齢者向けに無料にするなどの取組があるとよいと思う。</p>	<p>高齢者の方々が健やかで生きがいを持って幸せに暮らすことができる取組を現在策定中の総合計画の基本計画の中にも盛り込みたいと考えております。</p> <p>現在も健康づくりに関して、いきいき百歳体操、介護予防にかかる自己チェック、よりよい食生活の啓発などに取り組んでおりますが、新たに市民プールを整備するため、こちらをより健康づくりに役立てていただけるよう、高齢者の方々も利用しやすいような環境づくりを検討したいと考えております。</p>
2	<p>NPO主催などによる様々なワークショップやイベントなどの企画が毎週どこかであると、市民は楽しめると思う。</p>	<p>NPOの方々をはじめとする市民活動について、例えば、現在は新型コロナウイルスの関係上、中止をしておりますが、草津川跡地公園では定期的にマルシェやガーデニング講座など、様々な活用の場として御利用いただいております。このような取組を各地でさらに活発にできるよう、今後も市としても支援していきたいと考えております。</p>
3	<p>イオンモール草津など郊外にショッピングモールができたことで中心街が衰退することへの対策はあるか。</p>	<p>郊外に大規模店舗ができ、中心市街地の商店街が衰退することは、全国的な傾向でございますが、本市の商店街は飲食・サービス等の面で活気ある地域となっております。しかしながら、現在は新型コロナウイルスの影響で厳しい状況となっておりますので、これらの店舗が持続できるよう、草津市飲食店応援チケットを販売するなど支援を行っております。</p> <p>周辺地域におきましても、最寄りの商店があることは暮らしやすさの重要な要素の一つでございますので、地域ごとの特色も見ながら、それぞれ利便性の高い暮らしやすい生活拠点となるよう、地域再生計画を策定するなど、取組を進めております。</p>
4	<p>空き家対策についてはいかがか。</p>	<p>全国的な傾向として空き家の数は増加しており、本市でも今後増えていくことが予測されておりますが、現在の本市の取組としましては、空き家バンク制度がございます。この制度は、空き家を利用したい方とマッチングをすることで空き家を活用していただくということでございます。活用事例が多くないため、今後さらに周知などを進め、活用を広げたいと考えております。</p>